

官・民知恵絞る時

よみうり防災フォーラム

巨大災害にどう備えるか、地域のにぎわいをどう取り戻すか

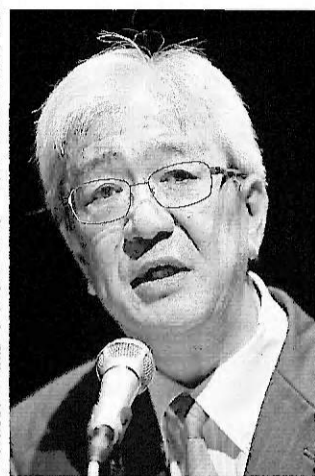
よみうり防災フォーラム2012「巨大災害にどう備えるか、地域のにぎわいをどう取り戻すか〜紀伊半島大水害から1年を迎えて〜」が9月21日、大阪市中央区の大阪ビジネスパーク円形ホールで開かれた。国土交通省近畿地方整備局の谷本光司局長が「紀伊半島大水害から1年、復旧・復興と災害対策の課題」と題して基調講演。その後、南海トラフ巨大地震も想定しながら、「防災・減災と地域再生のために」をテーマにしたパネル討論や報告が行われ、市民420人が耳を傾けた。

「紀伊半島大水害から1年、復旧・復興と災害対策の課題」
——基調講演——

昨年9月に紀伊半島を襲った台風12号の被害は甚大だった。和歌山、奈良、三重の3県で洪水による土石流や地滑り、がけ崩れの土砂災害は計1066件で、死者、行方不明者は88人を数えた。約2000の国道、県道が通行止めになり、11か所の集落が孤立した。奈良県十津川村栗平地区は1400万立方メートル、大規模の土砂崩れが起き、河川が塞がれ、土砂ダムができた。応急作業として、孤立の解消に不可欠な国道168号を開通

住民に安全・安心を

国土交通省近畿地方整備局長 谷本光司氏



させるため、約95にわたり橋が落ちた部分を復旧した。業務協定先の日本建設業連合会関西支部と建設コンサルタンツ協会近畿支部などが迅速に工事をし、早期に回復させた。また、国土交通省や全国の地方整備局に配置された、技術支援を専門に行う「緊急災害対策派遣隊(T.E.C.I.F.O.R.C.E.)」が、山やがけが深層の地盤から崩壊している状況などを調査した。土砂ダムについては斜面の崩壊や土石流を感知するセンサーなどで24時間監視する体制も整備。仮の排水路も設けた。2011年の台風12号による水害の被害額は約5100億円。うち和歌山県が約2440億円を占め、観光客も前年より

1割減った。風評による被害を防ぐため、近畿運輸局主催で旅行会社員対象の現地ツアーを行い、奈良県は観光客向けに宿泊旅行券を発行した。南海トラフ巨大地震では、津波の高さが和歌山県内で最大20メートルに達する予測が公表されている。予測に応じて警戒区域を分け、避難用の高い建物を建てるなど、防災を意識したまちづくりが必要だ。3県にまたがる災害に備えた道路ネットワークなどのインフラ整備も課題となっている。紀伊半島の再生には、国や自治体など行政と民間が連携して、災害のリスクを減らして安全・安心をもちたす取り組みと、観光客が集まる地元の人々と交流することが欠かせない。

地元をつながり危機救う



日本各地の風景や文化、暮らしを紹介する動画サイト「美しき日本」で、奈良県の映像制作を担当しており、南部の十津川村や天川村に水害の前後に撮影に行った。深く心を打たれたのは、被災し孤立した地域で暮らす、おぼろちゃんたちの愛おしい笑顔だった。水害が起る前に訪れた時、彼女たちは「(二ツトリの)座を立てたの、飲むよ」と振る舞ってくれた。都会人には驚きながらも、塩を少しかけて飲むとおいしく、パワーをもらった。

河瀬直美氏

映画作家

そして、水害から1か月後、その地域に再度向かった。彼女たちは、孤立しているも「実った稲を放っておかれへん」と稲刈りをしたと話した。火を起して、握り飯を作って食べたとも聞いた。国や行政の助けに頼ったり、援助が



パネリストの討論に聞き入る市民ら—大西健次撮影

◇主催 読売新聞大阪本社
◇後援 国土交通省近畿地方整備局、近畿運輸局、中部地方整備局、中部運輸局、奈良県、和歌山県、三重県、関西経済連合会

深層崩壊の仕組み解明へ

遅い非難したりせず、厳しい状況に置かれても、先祖から孫へつなげる地元で生き抜こうとする。その営みの力強さに、逆に励まされた。奈良県出身の映画作家として、復興を支援する催し「南からの風」を国内外で開いている。私が運営に携わる「なら国際映画祭」でグランプリを受賞したメキシコ人の監督が昨年、十津川村で撮影した映画「祈り/Inori」の無料上映会と、奈良の物産展を中心にした催しだ。

水害に遭う前の村の風景や生活を記録したこの映画は、8月にスイスのロカルノ国際映画祭で上映され、新鋭監督部門のグランプリを受賞した。9月には奈良で、劇団「あまのこ」が上演した。涙を分かち合え、「少しでも被災地の役に立つ」と思っている。生活に根ざした地域のきずながあるから、危機を乗り越えられる。奈良の事例から学ぶことは大きい。隣人の顔がわからず孤独になりがちな都市では、例えばお祭りを開くことなどを機につながりを築くことが、防災上もとても大切だと思っ

もこのルートの整備は不可欠だ。現在も五條市、野迫川村、十津川村で計170世帯、346人が避難している。2014年3月末までには約8割の方が戻れると見られていた。住宅を失った方々には、できるだけ市、村の中で安全な場所に戻って進めたい。十津川村では高台の2か所(谷瀬、鶴川)を選定した。村内に分散する小さな集落からの住み替え移住につながる過渡的対策の試みもある。深層崩壊のメカニズム解明のため4月、県の土木部に深層崩壊対策室を設置した。大規模な土砂災害を、どのように監視、警戒し、適切な避難につなげていくかも併せて研究している。県南部地域では、災害後の風評被害により観光面で大きな損害を受けた。8000円で購入していただければ、2000円は県が負担し、1万円分利用できる「プレミアム宿泊旅行券」を発行したことなどで、少しずつ回復してきている。奈良、和歌山、三重の3県で10年に八建園Vした吉野・高野・熊野の国の取り組みにより、紀伊半島の広域観光をさらに進めたい。

社会医療法人 真美会 中野こども病院 (理事長: 木野 稔) 小児科
〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17 ☎06-6952-4771 http://www.nakano-kodomo.or.jp/

あなたの街の救急病院 (広告は順不同)
社会医療法人 生長会 府中病院 (理事長: 田口 義丈) 院長: 田中 肇
内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・血液内科・泌尿器内科・神経内科・外科・消化器外科・乳癌外科・内視鏡外科
〒594-0076 和泉市肥子町1-10-17 ☎0725-43-1234 http://www.seichokai.or.jp/

医療法人 行岡病院 (理事長: 行岡 正雄) 院長
内科・外科・整形外科・脳神経外科・リウマチ科・リハビリテーション科・消化器内科・消化器外科・眼科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科・放射線科
〒530-0021 大阪市北区浮田2-2-3 ☎06-6371-9921(代) http://yukioka.or.jp/

医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院 (理事長: 徳田 虎雄) 院長: 福田 貢
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・泌尿器科・内分泌代謝内科・内分科・神経内科・心臓内科・リウマチ科・血管新生内科
〒581-0011 八尾市若草町1番17号 ☎072-993-8501 http://www.yao.tokushukai.or.jp/

社会医療法人 生長会 府中病院 (理事長: 田口 義丈) 院長: 田中 肇
内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・血液内科・泌尿器内科・神経内科・外科・消化器外科・乳癌外科・内視鏡外科
〒594-0076 和泉市肥子町1-10-17 ☎0725-43-1234 http://www.seichokai.or.jp/

社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 (理事長: 田口 義丈) 院長: 亀山 雅男
内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・内分泌代謝内科・神経内科・精神科・救急科・外科・乳癌外科・放射線科
〒599-8247 堺市中区東山500-3 ☎072-234-2001 http://www.seichokai.or.jp/

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 開設10周年
未来に伝える「震災の記憶とこれからの防災・減災」
阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に伝え、防災の知識と今後起こりうる災害への備えを学ぶ体験施設

【ドキュメンタリー3D映像作品の上映】「東日本大震災 津波の傷跡」
東日本大震災被災地の1ヵ月後、半年後、1年後を収録した約15分のドキュメンタリー3D映像を上映しています。東日本大震災から1年以上経った今だからこそ、もう一度被災地のことを考えるきっかけとして、改めてご覧いただきたい映像です。
開催期間: ~平成25年3月末
開催場所: 東館1階こころのシアター

【防災専門リレー講座開催のお知らせ】
DRI開設10周年記念事業「第2回防災専門リレー講座~南海トラフの巨大地震津波への備え~」
「南海トラフ巨大地震 津波をどう評価するか」参加者募集!

講演1 静岡大学総合防災センター准教授 原田賢治氏
講演2 東北大学災害科学国際研究所教授・副所長 今村文彦氏
開催日時: 平成24年11月2日(金) 13:30~17:00
開催場所: 兵庫国際交流会館(神戸市中央区臨浜1町)
募集期間: 平成24年10月26日(金)まで。先着順受付
参加申込・問い合わせ先 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター事業部普及課
メール: hitobou-fukyuu@fri.ne.jp 電話: 078-262-5066 FAX: 078-262-5082

●1.17シアター: 阪神・淡路大震災発生の瞬間の再現映像
●震災直後のまち: 震災直後のまち並みをジオラマ模型で再現
●震災からの復興をたどるコーナー: 震災直後や復興過程の生活やまちなかの姿をグラフィックで解説
●防災減災ワークショップ: 防災・減災について学べる実験やゲームを実施

アクセス/【電 車】阪神電車「岩屋」駅(春日野道)駅から徒歩10分 / JR「灘」駅から徒歩12分
【自動車】阪神高速神戸線「生田川」ランプから約8分、「摩耶」ランプから約4分
JR新幹線「新神戸」駅から徒歩約15分
駐車場/有(総合案内内の駐車券提示による観覧者割引有)

開館時間/8:30~17:30(入館は16:30まで)
ただし、7~9月は9:30~18:00(入館は17:00まで)
金土曜日は9:30~19:00(入館は18:00まで)
休 館 日/月 曜 (祝日の場合は翌平日)
12/31 1/1
※ゴールデンウィーク期間中(4月27日から5月5日)は休館

入館料金/大人:600円、大学生:450円、高校生:300円、小・中学生:無料
※20名様以上団体割引あり
※障がい者、65歳以上の高齢者は証明証提示により上記の半額

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-2 (HAT神戸)
TEL.078-262-5050 http://www.dri.ne.jp/

人と防災未来センター開設10周年記念企画展
「想定 南海トラフ巨大地震 ~被害想定を通して考えよう、これからの防災・減災」の開催

時期 平成24年10月2日(火)~12月16日(日) 有 料
場所 人と防災未来センター 西館2階 防災未来ギャラリー 有 料

南海トラフ沿いで今後発生が予測されている巨大地震については、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」および「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」において、最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの地震・津波を推計し、その被害想定が、さる8月29日に公表されたところ。この被害想定では、東海地方が大きく被災するケースで最大約323,000人の犠牲者が出る予測されています。検討会等においては、このような最大クラスの地震・津波の発生頻度は極めて低く、過度に心配することは問題であるので、「強い揺れが起きたら速に逃げる」ということを一人ひとりがしっかり認識し、「正しく恐れてほしい」としています。このようなことから、最新の科学が推定する地震発生の可能性と被害の全貌を紹介しながら、私たちが今から取り組まなくてはならない防災・減災の備えについて考える企画展を人と防災未来センター開設10周年記念事業として開催します。

(1) 想定:南海トラフ巨大地震・津波
国において公表された、最新の科学的知見に基づいて発生しうる最大クラスの地震・津波を推計し、人的被害等の被害を想定したデータを映像やパネルで紹介いたします。

(2) かつての大地震(大災害)の歴史を振り返る
かつて発生した大型の地震・津波災害の歴史を紹介いたします。

(3) いかに被害を軽減させるのか。備えの現在と、課題
被害軽減のための具体策や実際に進められている国や自治体の取り組み・対策・備えの現状を紹介するとともに、一般市民が個々に意識して取り組む備え等を紹介いたします。

(4) 南海トラフの科学 防災・減災のための研究最前線
防災・減災の予測や対策に欠かせない、地震現象など科学的調査の現在、最先端の姿を紹介いたします。

減災・地域再生へ

報告 日建連・建設コンサルタンツ協会の挑戦
日本建設業連合会関西支部長 河本克正氏



日本建設業連合会(日建連)関西支部と建設コンサルタンツ協会近畿支部は、近畿地方整備局からの支援を受け、主に土砂ダムができた5地区で復旧工事を担当した。発生直後の9月9日に調査を開始。16日には緊急対策工事に着手した。

災害時 貢献できる技磨く

では崩壊した土砂をダム湖に埋め戻すという計画を立てた。発電機やポンプをヘリコプターで運び、ポンプ排水でダム湖の水を下げた後、約10日で復旧工事を進めた。護岸工事の後、排水路を建設したが、再度雨が降ると中断することもある。

報告 災害に強い高速道路ネットワークの構築
西日本高速道路執行役員関西支社長 芝村善治氏



高速道路は大規模災害時の緊急輸送路として極めて重要だ。東日本大震災の際、東北道・常磐道はわずか20時間で復旧し、緊急車両の通行が確保された。昨年の台風12号の災害時、阪和道では約100kmの土砂崩落などの災害を防ぐため、21時間余りの通行止めを行ったが、被災地支援ルートとして121日間、災害派遣車両などへの無料通行措置を実施した。

車線拡大・道路網多重化を

車線区間では昨年200回もの渋滞が発生した。災害時に機能を果たすため、4車線に広げるのが課題だ。なお、特殊橋梁の耐震化、道路情報通信網の複線ネットワーク化、津波発生時に高速道路を避難場所として活用することなど、ハード・ソフト両面で災害への備えを強化している。



和歌山県新宮市長 田岡実千年代氏

「逃げ切る」意識徹底する

復旧に大きな支障が生じた。まさに「想定外」であり、経験則が通用しないと普段から意識しておくべきだと強く感じた。救済活動では自衛隊や消防、警察が一丸で対処してくれたほか、水道が一週間使えなくなったことを受け、姉妹都市の宮城県名取市など各地から給水車がかけつけ、海上保安庁は船で水を輸送。友好都市の大府八尾市は、街にあふれた「ミミ」をパッカー車で片づけてくれた。災害時、姉妹・友好都市は非常に心強い。

年以内に70%とのことで、早急に防災・減災対策を進める必要がある。ハード面の対策は国や県と進めなければならぬが、時間がかかる。今すぐできるソフト面で津波から「逃げ切る」意識を徹底したい。岩手・釜石で防災指導を行い、小中学生らが津波を逃れた「釜石の奇跡」につなげた群馬大の片岡敏孝教授を今年度から招き、小中学校、一般向けに講演してもらっている。防災アドバイザーとしても助言を受ける。

復興・振興は合わせて

京都大防災研究所副所長、教授(コーディネーター) 中川一氏
紀伊半島では2013年に伊勢神宮の式年遷宮、14年に「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録10周年、15年に



は高野山開創1200年を迎え、観光客の増加が期待される。復興と観光振興策とを一体的に進め、被災から立ち直るだけでなく、発展するための取り組みがなされればと思う。南海トラフ巨大地震では紀伊半島のほぼ全域で震度6以上が想定されている。ハードとソフトの両面での防災、減災対策を進め、被災しても復興能力のある地域づくりが必要だ。それには産官学民の連携が欠かせない。道路整備を中心としたインフラ整備は、防災面からだけでなく、観光振興の面からも意義がある。特に地方では防災投資が遅れている。紀伊半島全体で連携することが重要だ。



じゃらんリサーチセンター 横山幸代氏

紀伊半島 一体で観光計画

入っている宿があるなどその地になじみの深い人々は、すぐ戻ってくる傾向が出ている。旅行会社や観光施設にも、観光は楽しいもの、災害はあってはならないという前提がある。だから、被災した時に対応できないことが多い。被災状況をなるべく隠して宣伝することは、かえってマイナスの印象を受けとられる可能性がある。東日本大震災で良い対応をしていた一つに、東京ディズニーリゾートがある。発生時に来場者に防災、防寒に役立つ備品を配布し、帰宅困難者には、安全確認ができた屋内施設をすべて開放するなど、臨機応変な対応ができていたという。

紀伊半島大水害から1年を迎えて

よみうり防災フォーラム

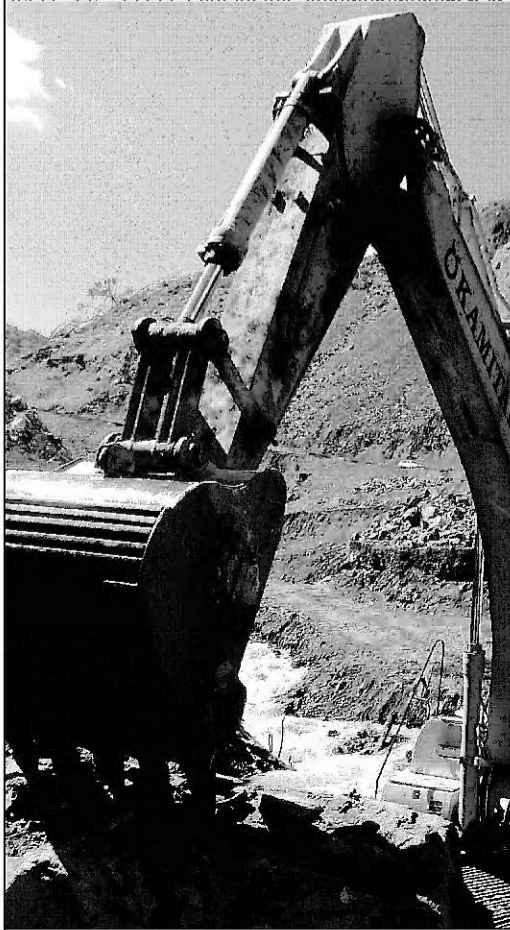


この国の未来を、つくっていく。

私たち建設コンサルタントの使命は、安全・安心な社会を構築すること。自然災害を未然に防ぐために、もしものときも被害を最小限にするために、災害に強い街づくりの技術支援や、社会資本整備の企画・調査・計画・設計などを行っています。

災害復旧を最前線で支えています。

50th Anniversary 1962~2012
JCCA Japan Civil Engineering Consultants Association
一般社団法人建設コンサルタンツ協会 近畿支部
〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手前ファビル5F
TEL 06-6945-5891 FAX 06-6945-5892



この国の歴史は、復興の歴史でもある。

平成23年9月初旬。台風による豪雨で、奈良・和歌山・三重の3県では、約1億m³の土砂崩れが発生。死者・行方不明者84名、倒壊家屋3200戸という大被害となりました。日本建設業連合会 関西支部では、この紀伊半島大水害からの1日も早い復旧に向けて、関係機関と連携し、災害復旧活動を行ってまいりました。これからも、万が一の際は、現場の復旧・復興を先頭で支えるとともに、事前の対策にもますます力を入れ、安心・安全な社会づくりに貢献したいと考えています。

災害復旧の最前線に立っています。

- 関西支部 会員 (平成24年8月1日現在)
- | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|----------|------|------|------|------|--------|--------|---------|------|-----------|
| アイサワ工業 | 岩田建設 | 奥村組土木興業 | 鴻池建設 | 大成建設 | 竹中土木 | 飛鳥建設 | 日本国土開発 | 深田グループ | 前田建設工業 | 名工建設 | りんかい産業建設 |
| 青木あすなろ建設 | 大木建設 | オリエンタル白石 | 五井建設 | 大鉄工業 | 鉄建建設 | 飛鳥建設 | 日本国土開発 | 福井建設 | 松本建設 | 森本建設 | 若築建設 |
| あおみ建設 | 大林建設 | 鹿島建設 | 佐藤建設 | 大和建設 | 東亜建設 | 飛鳥建設 | 日本国土開発 | 不動建設 | 三井住友建設 | 吉田建設 | 五十音(株)を省略 |
| 浅川建設 | 大井建設 | 株木建設 | 清水建設 | 大和建設 | 東亜建設 | 飛鳥建設 | 日本国土開発 | 北本建設 | みらい建設工業 | 神田建設 | |
| 達新 | 沼井建設 | 本村建設 | 武蔵建設 | 大和建設 | 東亜建設 | 飛鳥建設 | 日本国土開発 | 本間建設 | 村本建設 | ライ工業 | |

確かなものを 地球と未来に
社団法人日本建設業連合会 関西支部
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS
〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内
TEL 06-6941-3658 FAX 06-6942-4031